

## 功労者表彰式開催(2019年度授賞)

例年、加盟団体代表委員総会に引き続き開催しておりました JVA 功労者表彰式ですが、本年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、誠に残念ではありますが全体での開催を見送ることとし、各推薦加盟団体において執り行っていただきました。

授賞者皆様の長年のバレーボール界におけるご活躍に感謝申し上げますとともに、その素晴らしいご功績をお知らせいたします。

### 【表彰授賞者一覧】(以下敬称略)

表彰名	受賞者名	推薦団体
功労者Ⅰ	山根武	日本ヤングクラブバレーボール連盟
		日本ソフトバレーボール連盟
	不老浩二	公益財団法人日本バレーボール協会
	森田淳悟	公益財団法人日本バレーボール協会
	西川友之	富山県バレーボール協会
	迫田義人	公益財団法人東京都バレーボール協会
	長谷川吉秋	一般社団法人石川県バレーボール協会
功労者Ⅱ	山野上聖一	大阪府バレーボール協会
	高橋哲夫	岩手県バレーボール協会
	佐々木克之	宮城県バレーボール協会
	石川修	群馬県バレーボール協会
	小宮衛作	千葉県バレーボール協会
	飯塚初義	千葉県バレーボール協会
	尾崎弘	(一財)神奈川県バレーボール協会
	小川伸一	(一財)神奈川県バレーボール協会
	鈴木照久	(一社)静岡県バレーボール協会
	鬼頭勝政	愛知県バレーボール協会
	斉藤寿男	岐阜県バレーボール協会
	大門秀樹	岐阜県バレーボール協会
	浮田豊史	滋賀県バレーボール協会
	安田公一	京都府バレーボール協会
	大坪信次	兵庫県バレーボール協会
小倉幹司	徳島県バレーボール協会	
松原良治	佐賀県バレーボール協会	

## 【表彰授賞者のご紹介】

### 功労者 I 表彰

○山根武(やまねたけし) 日本ヤングクラブバレーボール連盟/日本ソフトバレーボール連盟

【授賞理由 [ヤング]】

1968 年に大阪府高体連バレーボール専門部役員として就任後、秀でた能力・情熱が認められ、日本バレーボール協会の指導普及委員会委員に抜擢されました。その後も精力的、献身的に活動し、同主事・委員長をはじめ、同副会長・評議員という重責を担い日本のバレーボール界発展に尽力されました。

また、日本体育協会(現日本スポーツ協会)の指導者養成連絡協議会委員・副幹事長として、日本バレーボール協会との連携を深め、多くのスポーツ有資格者を養成してきた功績は絶大なものがあります。

1998 年の日本ヤングクラブバレーボール連盟の設立当初から現在まで、22 年にもわたる期間において、本連盟の中心役員として連盟・連盟主催大会の発展に大きく貢献されました。

【授賞理由 [ソフト]】

大阪府の高校教員着任と同時にバレーボール指導者として生徒への指導とともに、府高体連専門部として活躍されました。その活動が認められ日本バレーボール協会の指導普及委員としてソフトバレーボールの普及・発展と連盟発足に尽力されるとともに、1998 年からは日本ソフトバレーボール連盟の理事として運営に献身的に邁進されました。2007 年に日本バレーボール協会では指導普及委員長・執行役員を務めると、2009 年からは副会長に就任し、組織運営の一翼を担ってきました。2012 年に役職退任後は再度日本ソフトバレーボール連盟の副会長としてソフトバレーボールの振興及び連盟発展と人材育成に尽くされました。

○不老浩二(ふろうこうじ) 公益財団法人日本バレーボール協会

【授賞理由】

長年、国内競技委員・副委員長・委員長を歴任され、日本バレーボール協会の国内競技の基盤を築き上げました。国内大会でのご活躍はもちろんのこと、特に国民体育大会やマスターズ大会など、現日本スポーツ協会主催の大会において、競技運営の中心的役割を担い、いくつもの大会を成功裏に収めました。その活躍の幅は本会だけにとどまらず、日本スポーツ協会の理事職を 10 年間務め上げました。上部団体にて、本会の地位向上に貢献するとともに、その懸け橋的な立場を重んじました。

また、学んだ知識や知り得た有益な情報を、本会の理事・評議員として協会運営に役立てていくことに強い使命感を抱き、会議の席では客観的かつ建設的な意見を述べられ、議論の幅を広げる重要な役割を果たしました。変わりゆく日本バレーボール協会の歴史の中で、変わらぬ信念と強い正義感をもとに、その職責を全身全霊で全うされました。

○森田淳悟(もりたじゅんご) 公益財団法人日本バレーボール協会

【授賞理由】

森田氏は、1972 年ミュンヘンオリンピックで優勝した男子日本代表チームの中心選手であり、「一人時間差攻撃」の考案者でもあります。トップアスリートであった視点からだけではなく、公認講師やユニバーシアード監督として、その豊富な経験と卓越した指導力を発揮され、長年にわたり、バレーボール界の強化の根幹に深く携わりました。若手の発掘育成から、ナショナルチームの男子強化委員長、最終的には強化の総責任者である強化事業本部長として、オリンピックとしての豊かな経験とその見識を遺憾なく発揮されました。

また、国際バレーボール連盟のコーチ委員会委員として従事するかたわら日本バレーボール協会の理事としても組織運営の一翼を担い、協会の発展に大きく貢献されました。

2013 年 10 月には国際バレーボール連盟の殿堂入りを果たされております。

## ○西川友之(にしかわともゆき) 富山県バレーボール協会

### 【授賞理由】

大学教授として授業を通しては学生にスポーツ活動の啓蒙を、チームへの指導を通してはバレーボール競技の普及、指導法の研究を進める傍ら、自らは A 級審判員、インターナショナルレフェリー、FIVB レフェリーとして審判活動に励まれました。1998 年に日本で開催された世界選手権では、決勝戦で 1st レフェリーを務められました。これらの経験をもとに、早くから女性審判員の重要性を提唱し、国内初の女性 A 級審判員候補を自県から発掘後、熱心に指導育成し、国内初の女性国際審判員誕生に結びつけました。インターナショナルレフェリーに認定されて以降は、日本バレーボール協会の業務運営にも深く携わり、審判規則委員長、評議員、運営理事などを歴任し、2015 年からは評議員会議長を 4 年間務められました。1999 年から 2019 年まで 6 回連続でワールドカップを富山県に誘致し、理事長、副会長、会長として大会運営に深く関わりいずれの大会も成功裡に収めております。現在も会長として県協会の陣頭に立ち、県・北信越ブロックのバレーボールの普及発展に邁進し続けております。

## ○迫田義人(さこたよしと) 公益財団法人東京都バレーボール協会

### 【授賞理由】

日本バレーボール協会の指導普及委員会の委員、また国内競技委員会の委員・副委員長として実業団チームを中心に指導育成するとともに、長年にわたり国内競技会の運営中心メンバーとして全国大会や国体、Vリーグ、国際大会等においても実働役員を統括する立場で尽力されました。その統括力は全国の都道府県協会を統括する立場であるブロック長としても発揮されました。所属協会である東京都バレーボール協会ではいち早く財団化を推し進め、47 都道府県で唯一の公益認定を受けた団体の礎を築いた人物であり、他の都道府県協会の財団化の見本となりました。東京オリンピック開催に伴う競技場建設時には、日本バレーボール協会とともに開催地協会として関係各所との調整やマスコミ対応に奔走し、事態の収拾を図る他、東京オリンピックを支える競技組織の下地作りに尽力されました。

また、日本体育協会の各役員を兼務し、他競技団体との情報共有を図ることで広い視野・柔軟な発想を持ちながら常にバレーボール界の発展を考えており、現在も各所属団体のご意見番として活躍されています。

## ○長谷川吉秋(はせがわよしあき) 一般社団法人石川県バレーボール協会

### 【授賞理由】

1990 年に日本バレーボール協会の国体競技委員となり、1991 年の石川国体では地元競技委員長として石川らしい国体にする事を目標に掲げ、土・日返上ですべての役員必携マニュアルの見直しに取り組んだ結果、石川国体は大成功に終わる事が出来ました。その功績が高く評価され、以後の山形、香川、愛知、福島、広島国体と委員会に在籍し大会成功に貢献されました。

また、1992 年 4 月に石川県ビーチバレー連盟が設立され、初代理事長に就任すると、日本で唯一海岸沿いを車で走れる羽咋市千里浜海岸をビーチバレーの拠点にすべく市当局に働きかけ、同年 8 月に県内初の公式試合の開催に漕ぎ着け、並行して 7 月には連盟設立記念招待試合としてバルセロナ五輪で活躍した男子日本代表チームを招待し、ビーチバレーの楽しさ・面白さ・醍醐味を観戦に来た 3000 人の県民にアピールする事ができました。その後、役員の育成や強化事業に取り組むと共に中学生大会、ママさん大会、ミックス 4 大会などを開催するなど普及活動にも力を入れ、ビーチバレー専用コート 4 面の設置も実現させました。石川県はもとより北信越、全国のビーチバレーボール愛好者に活躍する場を与えた功績は大きく、現在も県協会副会長、県ビーチバレーボール連盟会長としてバレーボール競技の普及・発展に務めています。2010 年に生涯スポーツ功労者として文部科学大臣表彰を受賞されております。

## ○山野上聖一(やまのうえせいいち)大阪府バレーボール協会

### 【授賞理由】

審判活動や国内競技委員会活動で活躍する傍ら指導者として長年チーム指導に当たられました。特筆すべきは、東我孫子中学校時代の教え子、南部正司氏が、当時の教えでバレーボールの礎を築き、その後、日本代表選手、引退後は男子日本代表監督として大きく実を結ぶかたちとなったことである。中体連の強化事業にも注力し、企画・立案・運営には自ら創意工夫を施し、中学バレーボール界の指導・普及・発展に多大なる貢献を果たされました。

1974 年大阪市中学校教諭として奉職し、大阪中体連・大阪バレーボール協会の中心的役員として、大阪府内の大会はもとより、全国大会、国際大会の運営、バレーボールの発展・普及に尽力されました。

日本バレーボール協会では国内競技委員長として国民体育大会を成功に収める立役者の一人として活躍されました。審判活動においても、審判員の後進の育成に力を入れると同時に、自ら A 級審判員として、中体連の大会を始め、黒鷲旗全日本選手権大会や日本リーグで活躍されました。

山野上聖一氏は令和 2 年 2 月 20 日にご逝去されましたが、その多くの功績を称えます。

## 功労者Ⅱ表彰

## ○高橋哲夫(たかはしてつお)岩手県バレーボール協会

### 【授賞理由】

1993 年より岩手県協会の常任理事として着任以来、常任理事、副理事長として 24 年間の長きにわたり県協会役員として活躍されました。特に 21 年間、岩手県協会審判委員長として、審判員の発掘育成にその力を発揮し、全国大会や各種ブロック大会へも優秀な審判員を派遣するなど、岩手県の審判員育成の基礎を作り上げました。

後年は、東北協会審判委員長も兼務し、2016 いわて国体成功に向け岩手県内の審判員養成にとどまらず、東北地区全体の審判員のレベルアップやブロック内の各種大会及び諸事業の推進にも力を注ぎ、大会成功に向けてその指導力を発揮されました。

## ○佐々木克之(ささきかつゆき)宮城県バレーボール協会

### 【授賞理由】

宮城県バレーボール協会主要役員(理事・審判委員長・顧問)として、長年尽力されました。併せて選手の指導育成等を通して県協会の普及発展に大きく貢献されました。また、各種バレーボール大会やワールドカップ、世界選手権を始め各種国際大会の運営においても主要役員、日本バレーボール協会国際審判員として活躍するなど、長きにわたり本県バレーボール界の普及・発展に尽力し生涯スポーツ推進に寄与されました。また、国際審判員として平成 10 年に資格を取得以来、大学連盟等において審判委員長を歴任し、国際大会等においての審判員の他、V リーグにおいてはレフェリーおよび JURY として大会運営に携わるなど、日本バレーボール界の普及発展にも尽力され、今後の活躍も期待されています。

## ○石川修(いしかわおさむ)群馬県バレーボール協会

### 【授賞理由】

1997 年、群馬県ソフトバレーボール連盟設立以来長年にわたり、各種県内大会、講習会、近県大会の企画・運営、全国ファミリーフェスティバル、全国シルバーフェスティバル、全国ねんりんピックぐんま、全国スポレク祭ぐんま等の全国大会の運営に尽力し、連盟発展に大きく寄与されました。

また、群馬県バレーボール協会事業の県内・関東・全国・国際大会の競技運営に積極的に係わり県協会の発展に尽力されました。特に V2 リーグでは群馬県でのプレス担当(広報・宣伝)として毎大会休まず任務を全うされました。

### ○小宮衛作(こみやえいさく)千葉県バレーボール協会

#### 【授賞理由】

本県の教員として奉職後、教科指導等と自分の経験を生かし、男子バレーボール部監督として、技術指導のみならず生徒指導に全勢力を注ぎ、千葉県バレーボールの普及発展に貢献されました。

1993年に本県協会の理事に就任し、指導強化委員長を歴任し2005年の千葉インターハイでは競技委員長として手腕を発揮し、「ゆめ半島千葉国体」も会場の競技責任者として大会を成功裡に導いた一人であります。2007年より、千葉県協会の屋台骨である高体連専門部の委員長として責務を全うし、県協会の普及発展に寄与した功績は多大です。2年間、公務の都合で県協会を離れていましたが2017年4月に復帰後、競技委員長に就任し、現在は副理事長と競技委員長を兼務し、日々奔走されています。

### ○飯塚初義(いづかはつよし)千葉県バレーボール協会

#### 【授賞理由】

千葉県の公立高校の教諭として奉職以来、保健体育の教員として授業・部活動・校務分掌を完璧に遂行し、生徒達の間人形成に多大な影響を与え、多数の教員を輩出しています。そして、バレーボール部の監督として好成績を上げ、高校の指導者としては県内のみならず全国でもトップクラスの存在となっています。県協会の強化委員長として手腕を発揮し、国体の競技別で高得点を上げ、千葉県の天皇杯・皇后杯では、上位入賞に貢献されています。現在は、高校の教諭・大学の監督をされながら、県スポーツ協会の普及育成強化部委員として県スポーツの普及強化に邁進し、本協会の中心的な存在として、今後益々の活躍が期待されています。

### ○尾崎弘(おざきひろし)一般財団法人神奈川県バレーボール協会

#### 【授賞理由】

平成13年4月より神奈川県バレーボール協会の総務委員長として組織の整備、ガバナンスの向上に務め、財政の健全化を果たすなど発展に寄与されました。特に一般財団法人への移行時には外部との調整や手続き、定款作成など法整備に尽力されました。これまで分裂状態にあった県内ソフトバレーボール団体との関係を、平成23年にソフトバレーボール委員会の設立により、県協会友好団体として発展させてきました。協会運営で中核をなす総務委員長としてバレーボール発展のため尽力をし、執行理事・副会長に就任してからは、Vリーグや国際大会開催において過去の経験から適切な助言をし、大会を成功裡に終了させるため積極的に取り組まれております。

### ○小川伸一(おがわしんいち)一般財団法人神奈川県バレーボール協会

#### 【授賞理由】

長年広報委員長として協会活動内容を各友好団体・地区協会に発信をし、バレーボール人口拡大・普及に尽力されてきました。Vリーグや国際大会では多忙な校長の任務をこなしながら、プレス部長・委員長として大会を成功裡に終了するよう活躍されてきました。また、若手の役員育成にも尽力されています。

法人化後は、コンプライアンス委員長として体罰・暴力断絶のため小学生チームを中心に啓蒙を継続しております。小学生連盟では、理事長を9年、会長として12年務め現在に至っており、全国大会を成功裡に終了させるよう連盟を一致団結するためのリーダーシップを遺憾なく発揮されています。

### ○鈴木照久(すずきてるひさ)一般社団法人静岡県バレーボール協会

#### 【授賞理由】

静岡県バレーボール協会理事長として県協会50周年記念行事を先頭で企画し、式典を実行し、記念誌を完成させました。衆議院議員として会議に参加ができなかった木部会長の委託を受け、他の役員との共通目的意識をすり合わせ会議における合意を取り付け県協会運営に活躍されました。浜松にて初めての世界選手権を運営開催し、多くの役員の仕事の采配を中心となって振りました。この時の役員が現在の県協会の中心

となっていることは鈴木理事長の人徳のなせるわざと言われています。また少年男女の国体成績を上げるために東西に長い静岡県の特徴を逆手にとって選抜チーム化に奔走し、高校の指導者の同意を取り付けました。現在に至っても単独チームではなく選抜方式が脈々と続いている事はこの時の合意の賜物です。多くの選手のみならず県協会の役員に至るまで鈴木氏の人徳にふれ模範としています。

#### ○鬼頭勝政(きとうかつまさ)愛知県バレーボール協会

##### 【授賞理由】

長年にわたり愛知県バレーボール事務局会計を担当され、県協会の発展に多大なる貢献をされたことはもちろんのこと、現在の県協会の財政基盤を確立された功績は特筆すべきであります。会計担当として年会計決算書や予算書作成はもちろんのこと、長年の課題であった役員旅費規程の改訂にも尽力されました。さらに、会計面から現われる課題への鋭い指摘や的確な助言は、法人化をすすめる大きな要因となりました。以上のような功績から平成 29 年度に愛知県スポーツ協会スポーツ功労賞も受賞されている。また、大会会場へ来られた際には、常に大会役員の労をねぎらう姿勢を見せられるなどその人柄は尊敬に値します。

#### ○斉藤寿男(さいとうとしお)岐阜県バレーボール協会

##### 【授賞理由】

長年にわたり、岐阜県バレーボール協会の理事、常任理事、参与として県バレーボールの普及・発展に多大なる貢献をされています。岐阜県及び東海クラブ連盟の理事長として各県・支部・地域における組織の充実を図り、県内大会や東海大会の運営を円滑に進めて頂きました。

特に、平成 29 年 11 月に岐阜県で開催しました「第 16 回全国社会人 9 人制バレーボール東ブロック男女優勝大会」では、大会副会長としてクラブ連関係役員を統括し、大会を成功裏に収めることができました。

#### ○大門秀樹(だいもんひでき)岐阜県バレーボール協会

##### 【授賞理由】

長年にわたり、岐阜県バレーボール協会の理事、常任理事、参与として本県バレーボールの普及・発展に多大なる貢献をされています。飛騨バレーボール協会の理事長として支部・地域における組織の充実を図り、県内大会や東海大会の運営を円滑に進められました。

特に、平成 18 年 7 月と平成 26 年 7 月に岐阜県で開催しました2回の「中部日本 6 人制バレーボール総合男女選手権大会」では、中心的な役員として地元の方々を統率され大会の円滑な運営にご尽力され、大会を成功裏に収めることができました。

#### ○浮田豊史(うきたとよし)滋賀県バレーボール協会

##### 【授賞理由】

長年にわたり、県協会役員として県バレーボール競技の普及発展、競技役員の資質向上のための指導組織の活性化に手腕を発揮されました。歴任した役員の他に直轄事業の実行委員長を数多く務め、特に全国大会、V リーグ大会の主要役員として、日本協会国内競技部・日本実連競技部で得た知識や経験を活かし幅広い見識で大会を成功裏に収めた功績は多大です。

財政的な視点でも手腕を発揮し、経費の効率化や規約・制度類の改善を図り、組織運営の活性化を強力に推し進めました。企業人として培った経営ノウハウは、これからのバレーボール界におけるスポーツビジネス思考として、今後更なる協会運営に役立つものと確信しております。

また、導入された規約・制度など現在も有効に活用されており、その功績は県協会組織の土台の一つとして活かされています。常日頃から前向きに改善しようとする姿勢は、協会役員・後輩役員達の模範であり信頼も極めて厚く、現在は県副会長と 2024 年に迎える滋賀国スポ障スポ大会の実行委員長・事務局長を兼任し、協会組織・事業運営に対し、名実ともに責務を遂行されています。

## ○安田公一(やすだこういち)京都府バレーボール協会

### 【授賞理由】

長年に亘り、京都府バレーボール協会、京都クラブバレーボール連盟の要職を歴任され、組織の充実や発展に献身的に寄与されました。

また、日本バレーボール協会 A 級公認審判員資格や国際バレーボール連盟国際コーチ資格も取得され、審判員のみならず指導者としても活躍されました。近年は、京都府バレーボール協会副理事長、京都クラブバレーボール連盟理事長、近畿クラブバレーボール連盟理事長として、それぞれの組織の運営はもとより、役員の育成にも尽力されています。

## ○大坪信次(おおつぼしんじ)兵庫県バレーボール協会

### 【授賞理由】

1985 年より 2018 年まで県内開催の日本リーグ、V リーグ、全国大会、また世界大会の競技運営に参画されました。特筆すべきは、次に掲げる神戸大会(1996 年ラックスカップ女子、1998 年世界選手権男子、2005 年ワールドグランプリ女子、2008 年世界選手権女子、2017 年世界クラブ選手権女子、2018 年世界選手権女子)の競技運営部長、開催地運営責任者を務められました。現在も兵庫県バレーボール協会副会長として県内 V リーグ、全国大会、国際大会の担当として活躍されています。

2006 年の兵庫国体(のじぎく国体)では障がい者大会副責任者を、2003 年より 2008 年は近畿バレーボール連盟主事を務められました。県内での大会開催により、兵庫県民へバレーボールの魅力を伝え、普及・発展に尽力され、その功績は非常に大きいものであります。

## ○小倉幹司(おぐらかんじ)徳島県バレーボール協会

### 【授賞理由】

大学連盟において、長年にわたり大きく貢献されてきました。徳島県バレーボール協会においても理事、常務理事を務め、県協会に貢献されています。その証として徳島県バレーボール協会及び徳島県体育協会から功者表彰を授与されました。長年大学バレーの指導に携わり、情熱的でわかりやすい指導で多くの女子選手の育成に尽力されてきました。国体においてもスタッフとして長年チームを支え徳島県チームのために尽力されてきました。こうした活動を通して、徳島県バレーボールに大きく貢献され、この功績に多くの協会員が感謝しています。

また、バレーボールに対する熱意は冷めることなく大会にも足を運び、大会の手助けをされています。徳島県協会のなかでも、常務理事を 28 年、理事を 12 年務め、現在は副理事長として徳島県バレーボールの普及・強化に多大なる力を発揮されています。

## ○松原良治(まつばらりょうじ)佐賀県バレーボール協会

### 【授賞理由】

長年にわたり、佐賀県バレーボール協会会長、九州バレーボール連盟会長としての要職を歴任され、バレーボールの普及・振興ならびに組織運営・役員育成等の面において、卓越した指導力を発揮されました。バレーボール競技の経験が無いとしながらも、県協会会長・副会長として 20 年間に及ぶ協会の運営統制に深く関わって来られました。後年は、九州連盟会長として 10 年間務められ、九州管内のバレーボール界の発展に多大な貢献をされました。また氏はバレーボールだけでなく佐賀法人会副会長やNHK地方番組審議員などの社会的重責も果たされています。寛容な人柄と柔軟な伝達力での的確にバレーボールの成果や実績を賞賛し、折をみて選手・役員への激励を重ねてこられたことは特筆すべきことです。このようなことから、県内外との連携強化・協力体制の構築に尽くされた氏の功績は高く評価されるものであります。

発行：公益財団法人日本バレーボール協会

発行人：事務局長 鍛冶 良則

電話：03-5786-2100 FAX:03-5786-2109

E-mail：generalaffairs@jva.or.jp